

おらだの声

発行者：米沢市認知症地域支援推進員

高齢福祉課地域包括支援担当 ☎22-5111

認知症地域支援推進員主催

『おらだのカフェ』を紹介します



『おらだのカフェ』は、認知症の方やそのご家族、地域の方が気軽に参加できる場として、認知症地域支援推進員が主催となり、今年度は令和4年6月から令和5年2月までに各5回ずつ、窪田・塩井コミュニティセンターにて開催しました。

令和4年度に開催した『おらだのカフェ』の活動内容や参加された方々の声をご紹介します。

『おらだのカフェ』(窪田・塩井コミュニティセンター)参加者の声

『おらだのカフェ』では、体操や脳トレ、寸劇、クリスマスリース作り等を行いました。

『かえっぺ』シールについて説明を受け、認知症の人には便利な制度だと思った。
(70代、男性)

久しぶりに体操をして、体が硬くなったと感じた。運動はやっぱり必要だなあ。
(60代、女性)



クリスマスリースを初めて作った。きれいにできたので、玄関に飾りたい。
(80代、女性)

時間のたつのを忘れ、リース作りに夢中になった。子どもの頃に帰ったようだった。
(70代、男性)

『おらだのカフェ』にご参加いただきました地域の皆様、大変ありがとうございました。

認知症の人とその家族を地域で支える『チーム板谷』を紹介します！

『板谷地区』は、福島県との県境にある地域です。

令和5年2月現在人口46人（男22人、女24人）、
高齢化率は65%を超えています。住民同士の関わりは強く、
お互いに支え合い、助け合いながら生活している地域です。



どうぞ～



歩くのが困難な方には車で送迎

おしょうし

ゴミ代りに出しとぐよ



近所の方のゴミ出し

フキノトウ
出たっつたよ



道端会議

塩梅どうだ？



みんなで料理

地域の女性が毎週「板谷集会場」に集まり詩吟や体操の他にも、
みんなで昼食を作りランチ会なども行っています。

そんな中、集まりの日を忘れたり、同じ話を繰り返したりと
「認知症」が心配な方がいらっしました。

そこで「正しく認知症を知ろう！」ということで、認知症サポーター養成講座をみんなで受講しました。
（令和3年12月）

令和4年10月には、もっと認知症について詳しく学ぶため、
担当地区の認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーター
と一緒に認知症サポーターステップアップ講座を受講しました。
受講後参加者からは、

「他人ごとではないな。」

「認知症になってもこうやってみんなと集まっていきたいな」

「みんなで声かけ合っていぐべね！」などの声が沢山聞かれました。

そこで・・・

認知症になっても住み慣れた板谷で、自分らしく暮らせるよう

認知症の人とその家族を地域で支える『チーム板谷』が発足しました。



チーム板谷



一人一人がチームの一員として、認知症の方に寄り添い
お互いにサポートしながら、これからも大好きな板谷で
笑顔で暮らして行くことを目標に活動していきます。

*** 認知症地域支援推進員より一言 ***
普段からの何気ない声掛けや見守りが地域のつながりとなり、
本人らしい生活の継続となります。そんな地区が
米沢市内に多く出来ればいいと思います。

※撮影のためマスクを外しております。